

3 配偶者からの被害経験

(1) これまでの被害経験の有無

これまでに結婚したことのある人（2,435人）に、3つの行為をあげて、配偶者から被害を受けたことがあるかを聞いた（図3-1-1）。

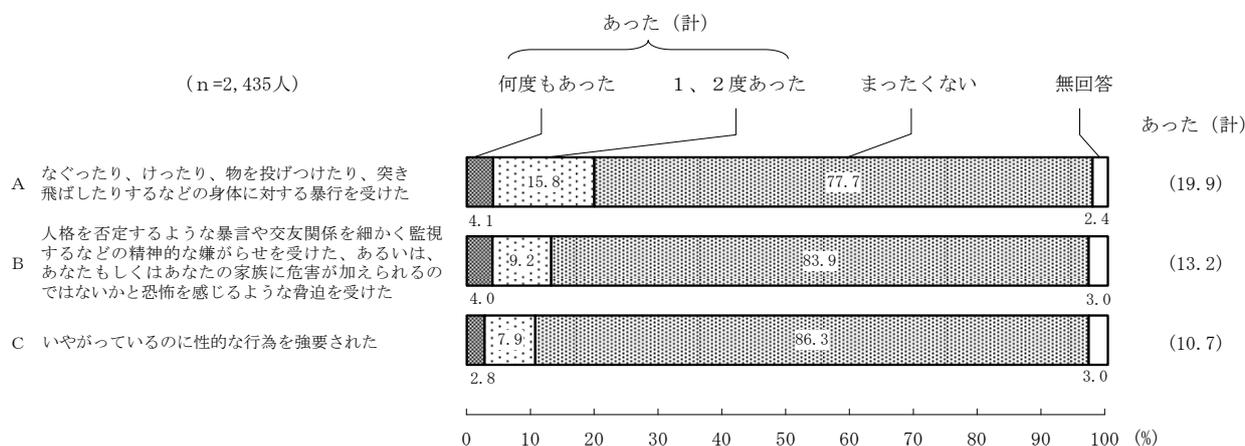
これまでに“なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた”ことが「何度もあった」という人は4.1%で、「1、2度あった」（15.8%）という人を合わせると、これまでに身体的暴行を受けたことがある人は2割となっている。

“人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた”ことが「何度もあった」という人は4.0%で、「1、2度あった」（9.2%）という人を合わせると、1割強の人が、心理的攻撃を受けている。

最後に、これまでに“いやがっているのに性的な行為を強要された”ことが「何度もあった」という人は2.8%で、「1、2度あった」という人（7.9%）を合わせると、1割の人が性的強要の被害経験を持っている。

【これまでに結婚したことのある方に、お聞きします。】
 問5 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます。以下、同様。AからCのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

図3-1-1 配偶者からの被害経験

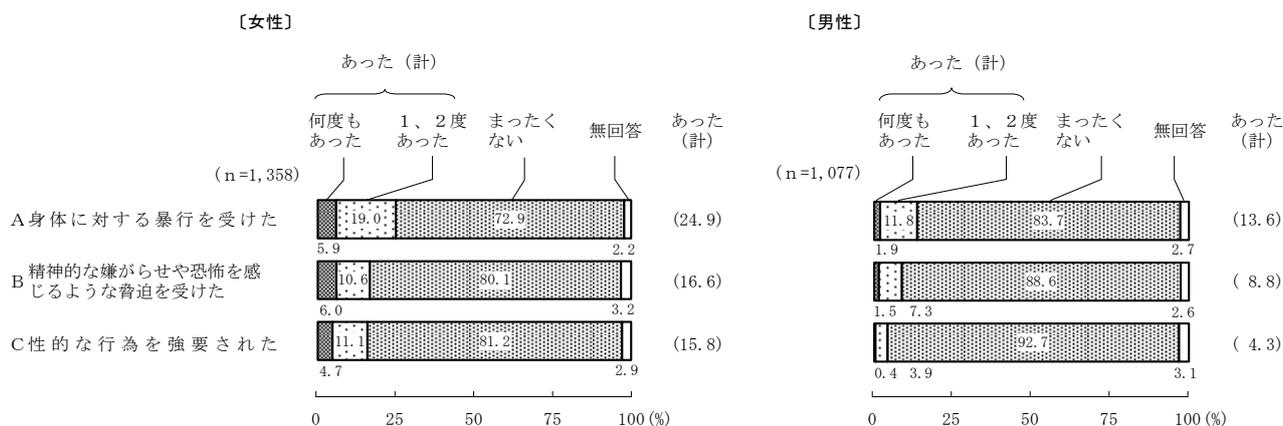


配偶者からの被害経験を男女別にみると（図3-1-2），“身体に対する暴行を受けた”ことが『あつた』という人は女性で24.9%（「何度もあつた」5.9%+「1、2度あつた」19.0%）、男性で13.6%（同1.9%+11.8%）と、女性の被害率の方が11ポイントほど高くなっている。

“精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた”ことが『あつた』という人は女性で16.6%（「何度もあつた」6.0%+「1、2度あつた」10.6%）、男性で8.8%（同1.5%+7.3%）と、女性の被害率の方が8ポイントほど高くなっている。

“性的な行為を強要された”ことが『あつた』という人は、女性で15.8%（「何度もあつた」4.7%+「1、2度あつた」11.1%）、男性で4.3%（同0.4%+3.9%）となっている。

図 3-1-2 配偶者からの被害経験（男女別）



配偶者からの被害経験を性・年齢別にみると（図 3-1-3）、「身体に対する暴行を受けた」ことが『あった』という人は、女性の 40 代（「何度もあった」6.6%＋「1、2度あった」22.7%）が最も多く、3割となっている。一方、男性では 30 代（同 3.5%＋13.3%）が最も多く、被害経験のある人が 2割弱となっている。

“精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた”ことが『あった』という人は、女性の 30 代から 40 代（30 代 同 6.8%＋10.4%、40 代 同 9.0%＋12.9%）で 2割ほどとなっている。

また、“性的な行為を強要された”ことが『あった』という人は、女性の 60 歳以上（同 5.6%＋12.5%）でほぼ 2割と、他の性・年齢層よりやや多くなっている。

図 3-1-3 配偶者からの被害経験（性・年齢別）

A 身体に対する暴行を受けた

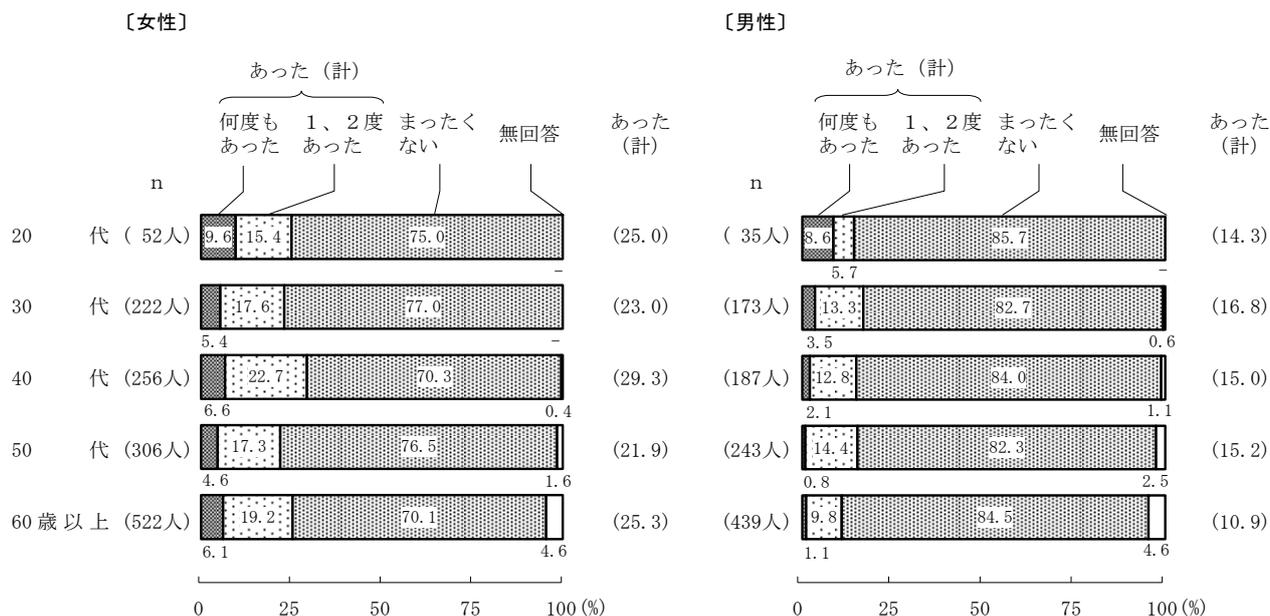
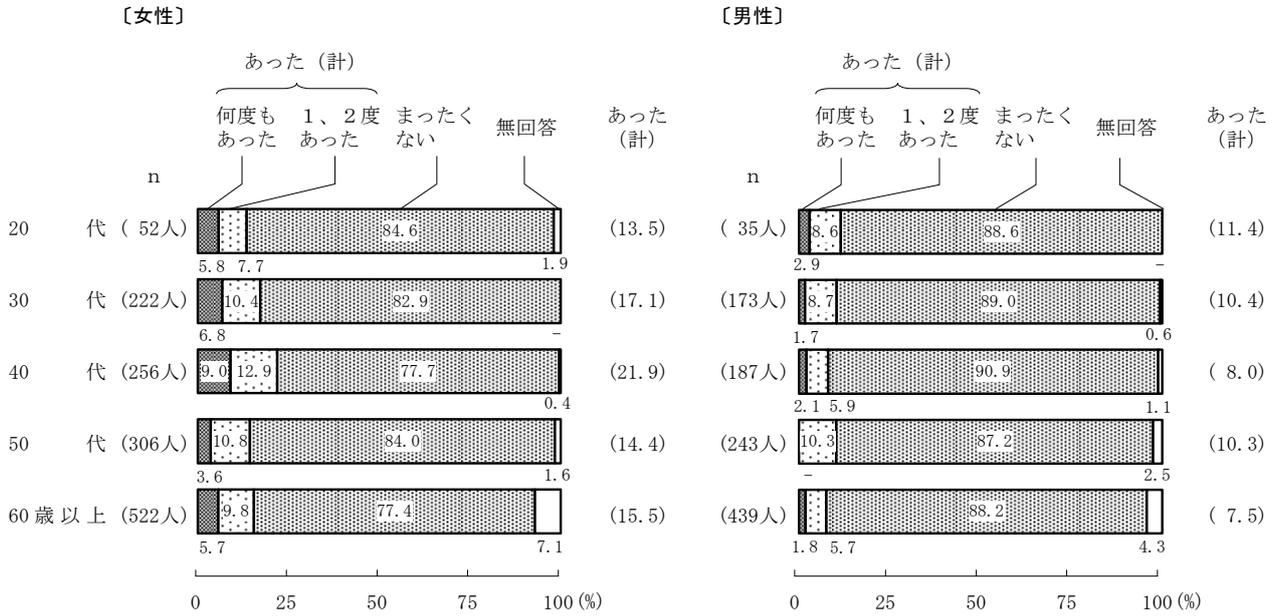
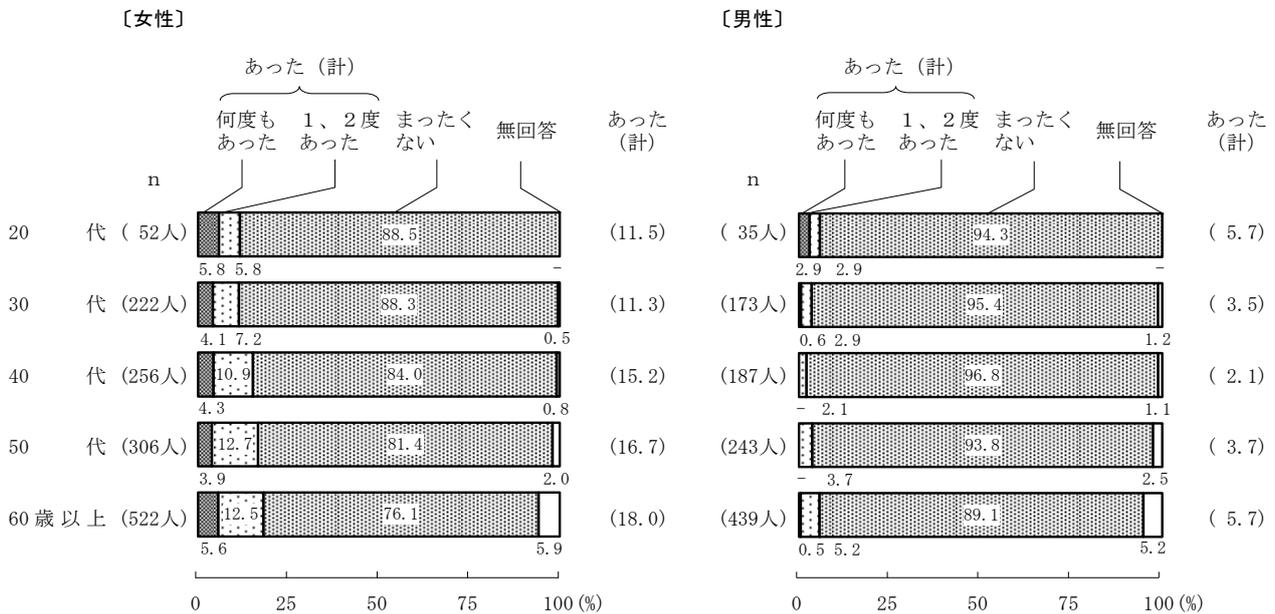


図3-1-3・つづき

B 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた

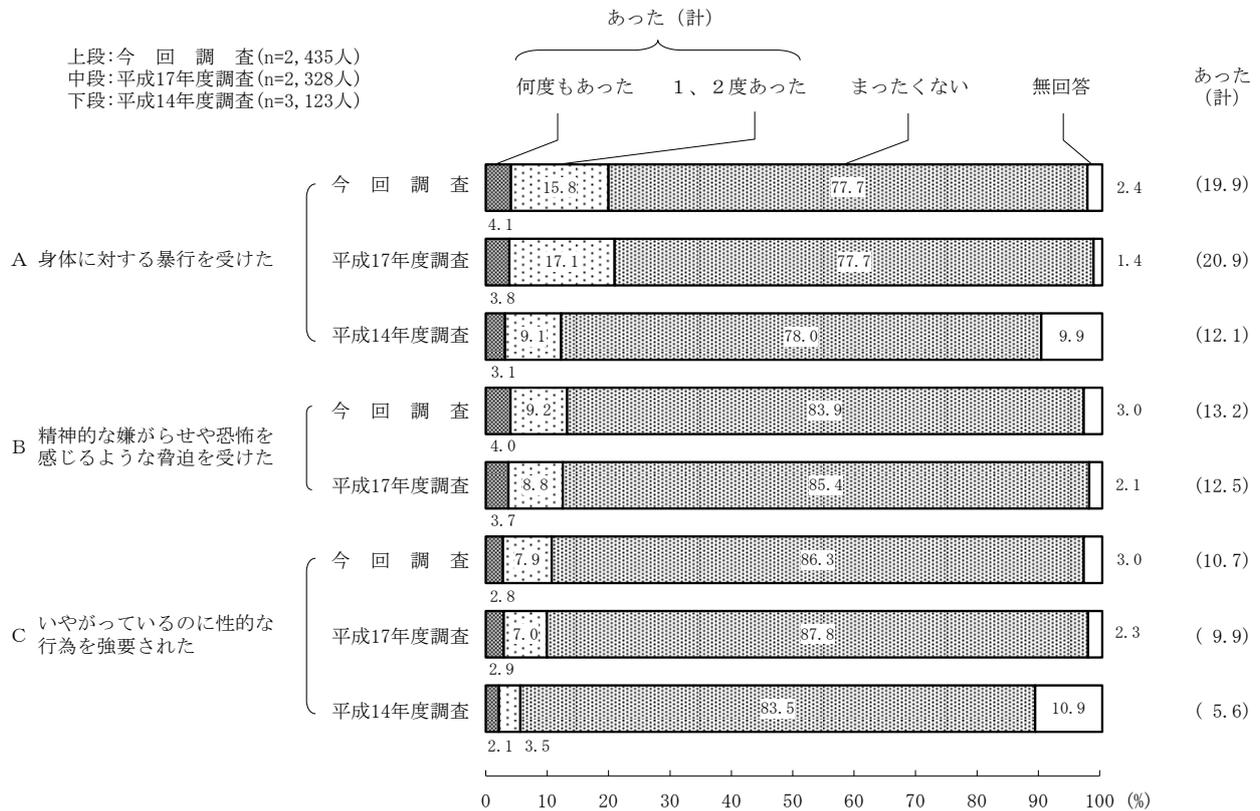


C いやがっているのに性的な行為を強要された



平成14年度調査及び平成17年度調査の結果と比較すると（図3-1-4）、平成17年度調査に比べ今回調査ではあまり大きな変化はみられない。

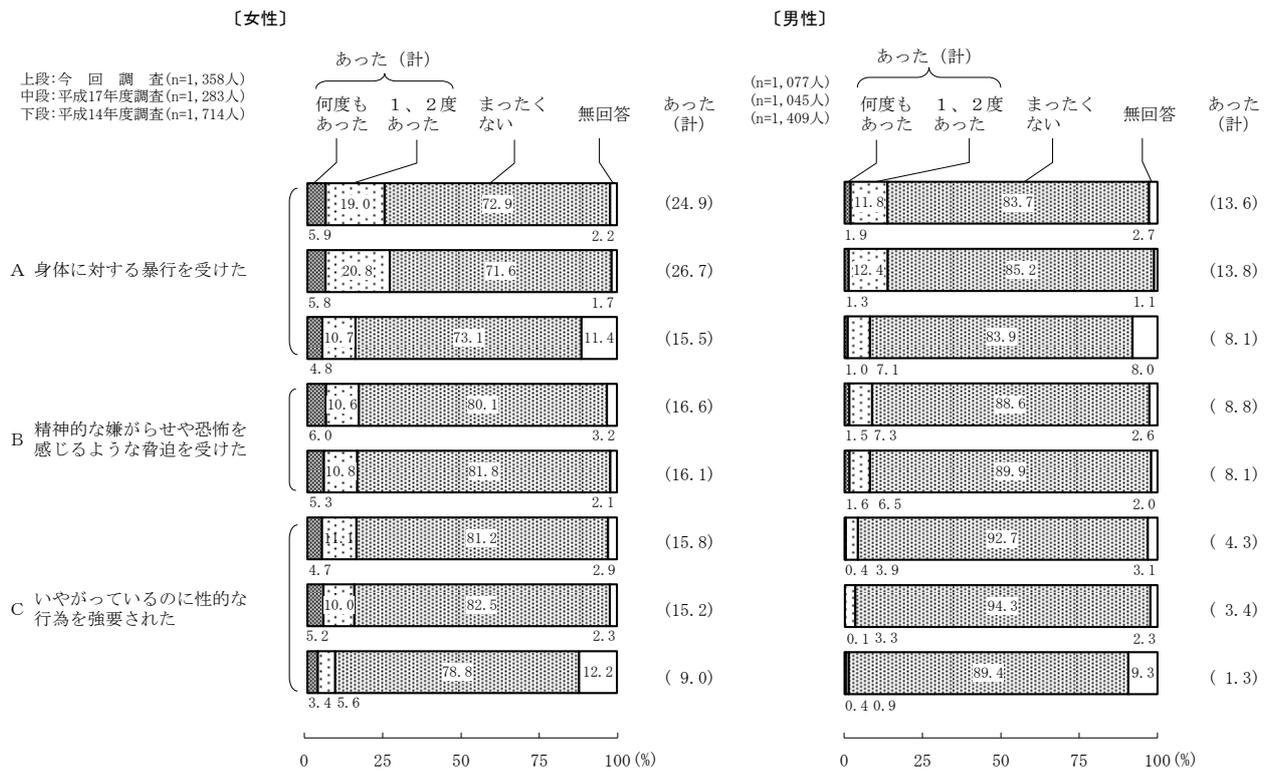
図3-1-4 配偶者からの被害経験 — 時系列比較



(注) 「B 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」については、平成14年度調査では、「あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」としているため、今回の比較の対象から外している。

男女別に平成14年度調査及び平成17年度調査と比較すると（図3-1-5）、平成17年度調査に比べ今回調査ではあまり大きな変化はみられない。

図3-1-5 配偶者からの被害経験（男女別）－ 時系列比較

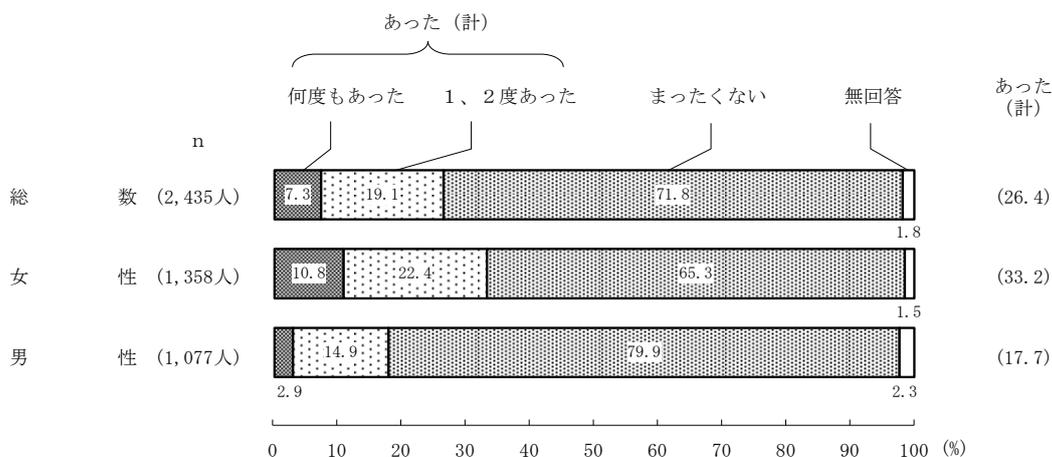


(注) 「B 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」については、平成14年度調査では、「あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」としているため、今回の比較の対象から外している。

配偶者からの被害経験をまとめてみると、「身体的暴行」「心理的攻撃」「性的強要」のいずれかについて「何度もあった」という人は7.3%、「1、2度あった」という人は19.1%で、1度でも受けたことがある人は26.4%となっている（図3-1-6）。

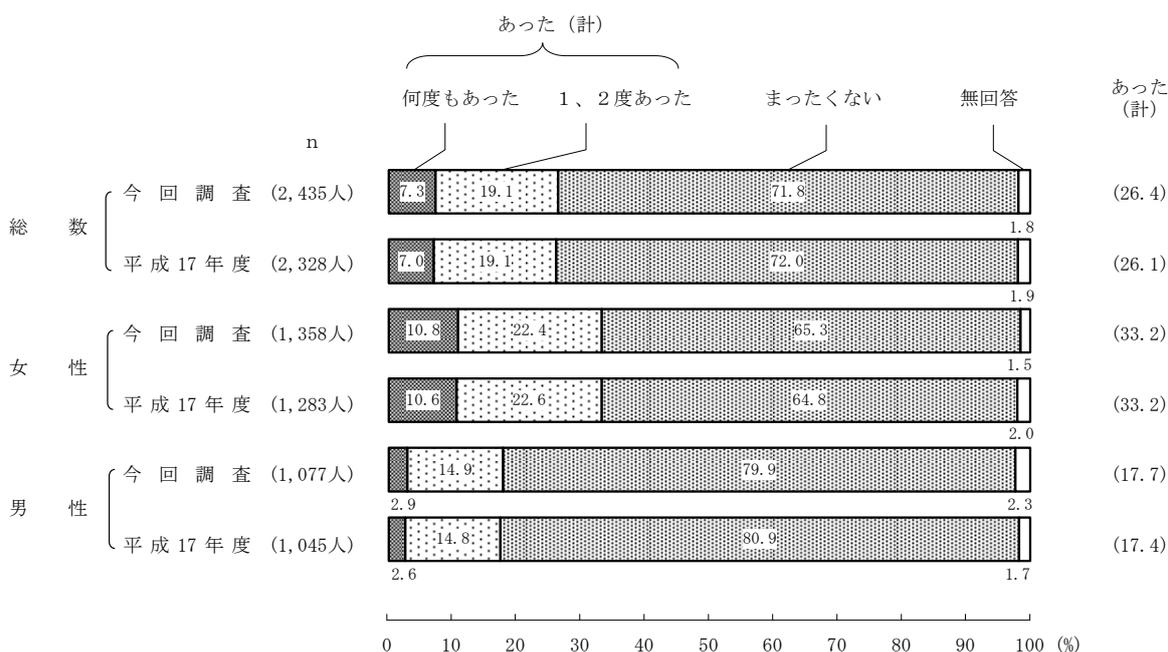
男女別にみると（図3-1-6）、女性の1割は配偶者から被害を受けたことが「何どもあった」と答えており、「何どもあった」（女性10.8%、男性2.9%）という人も「1、2度あった」（同22.4%、14.9%）という人も、女性のほうが男性よりそれぞれ8ポイントほど上回っている。

図3-1-6 配偶者からの被害経験 — まとめ



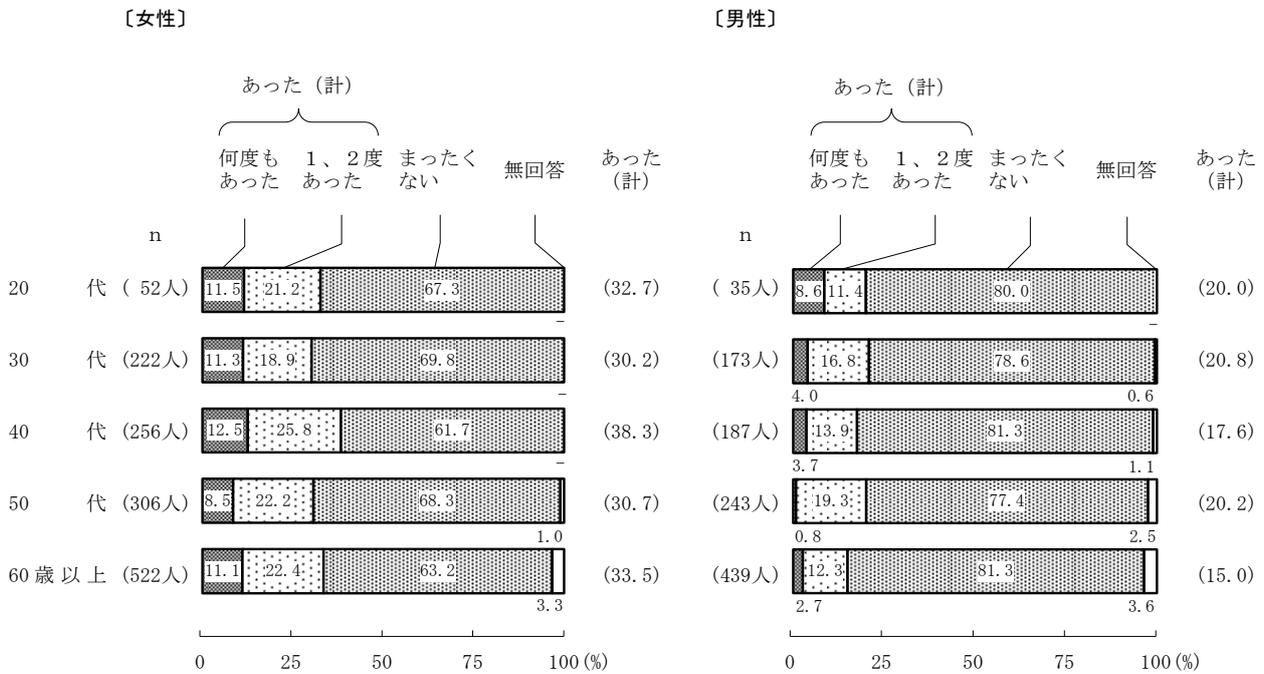
平成17年度調査と比較すると（図3-1-7）、配偶者からの被害経験に大きな変化はみられない。

図3-1-7 配偶者からの被害経験 — まとめ（時系列）



配偶者からの被害経験の有無を性・年齢別にみると（図 3-1-8）、いずれかの被害を受けた経験のある人は、女性のいずれの年齢層でも 3 割を超えており、40 代で 38.3%と、他の性・年齢層より多くなっている。

図 3-1-8 配偶者からの被害経験 — まとめ（性・年齢別）



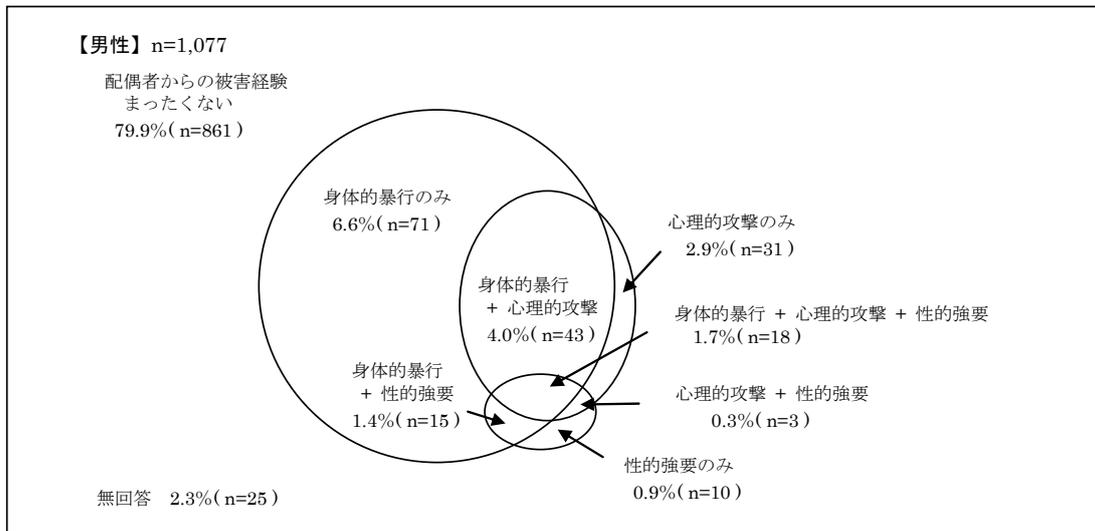
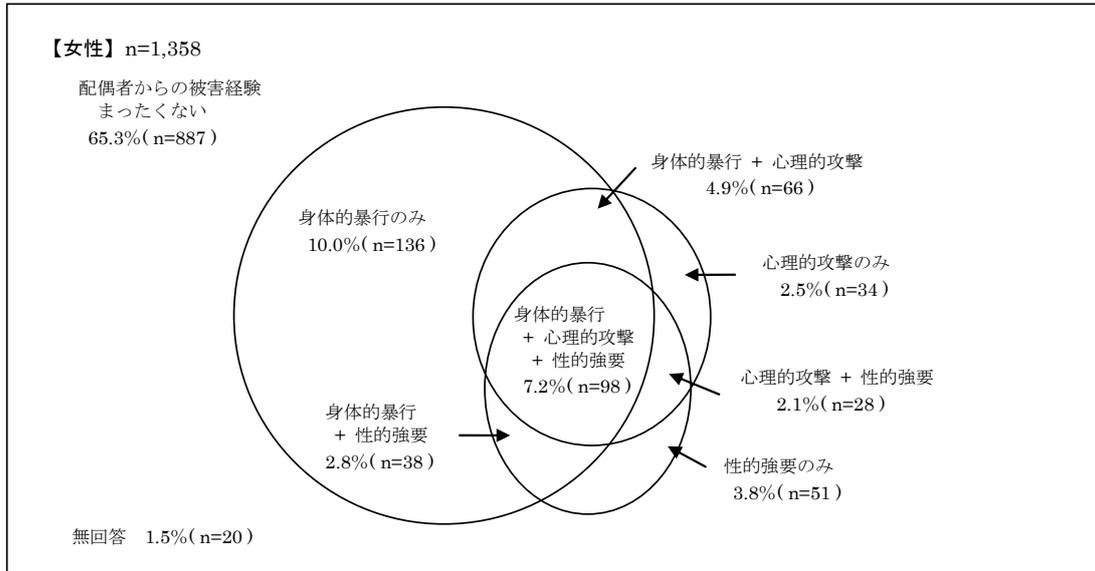
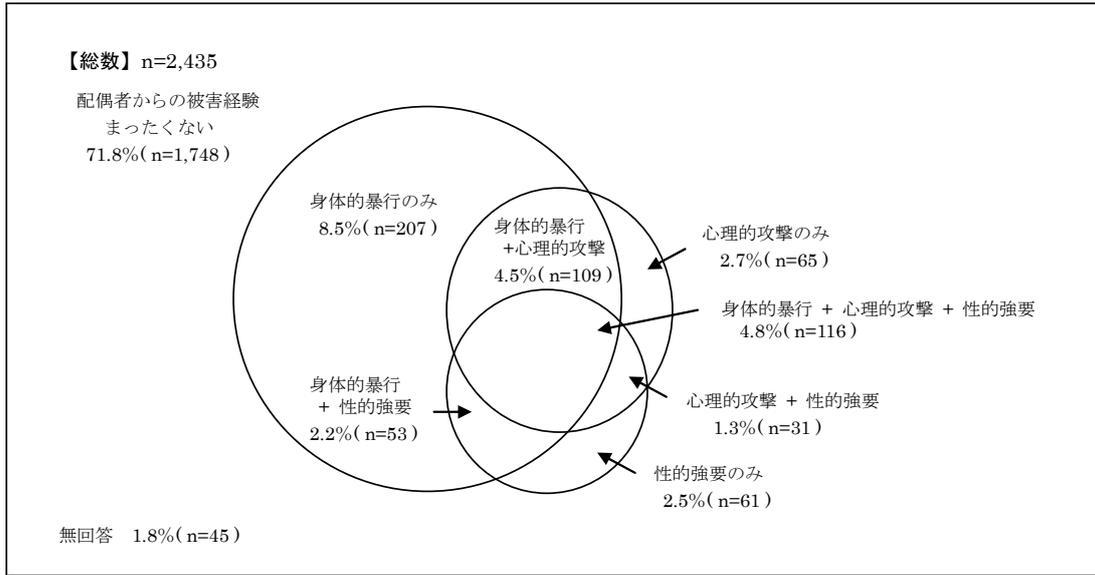
配偶者から受けた「身体的暴行」「心理的攻撃」「性的強要」といった行為の重複をみると（表 3-1-1）、「身体的暴行のみ」（8.5%）という人が最も多く、1 割弱となっている。

男女別にみると（表 3-1-1）、女性では「身体的暴行のみ」（10.0%）という人が 1 割で、次いで「身体的暴行・心理的攻撃・性的強要」（7.2%）という人が 1 割弱である。一方、男性でも「身体的暴行のみ」（6.6%）という人が 1 割弱となっている。

表 3-1-1 配偶者からの被害の重複

	n	被害の重複								無回答
		身体的暴行のみ	心理的攻撃のみ	性的強要のみ	身体的暴行と心理的攻撃	心理的強要と性的強要	身体的暴行と性的強要	身体的暴行・心理的攻撃・性的強要	まったくない	
【総数】	2,435	8.5	2.7	2.5	4.5	1.3	2.2	4.8	71.8	1.8
女性	1,358	10.0	2.5	3.8	4.9	2.1	2.8	7.2	65.3	1.5
男性	1,077	6.6	2.9	0.9	4.0	0.3	1.4	1.7	79.9	2.3

【参考】 「表 3-1-1 配偶者からの被害の重複」のイメージ図



(2) 過去5年以内の配偶者からの被害経験

配偶者からこれまでに何らかの被害を受けたことがある人（642人）に、さらに過去5年以内にしばって被害状況を聞いた（図3-2-1）。

“なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた”ことが「この1年にあった」という人は9.8%、「この2～5年にあった」（18.2%）という人は2割弱となっている。

“人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた”ことが「この1年にあった」という人は11.2%、「この2～5年にあった」という人は13.1%となっている。

最後に、“いやがっているのに性的な行為を強要された”ことが「この1年にあった」という人は4.0%、「この2～5年にあった」という人は7.3%となっている。

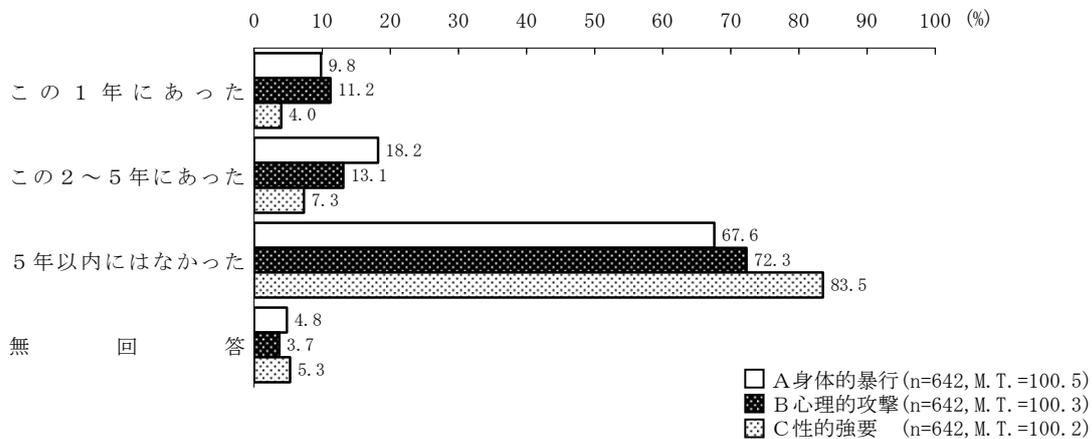
【問6～問14は、問5でAからCのうち1つでも、「1 1、2度あった」「2 何度もあった」と回答した方にお聞きします。

AからCのすべてが「3 まったくない」という方は6ページの間15にお進みください。】

問6では、この1年とこの2～5年には、どうでしたか。

AからCのそれぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-2-1 配偶者からの被害経験 — 過去5年間



- A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた
- B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた
- C いやがっているのに性的な行為を強要された

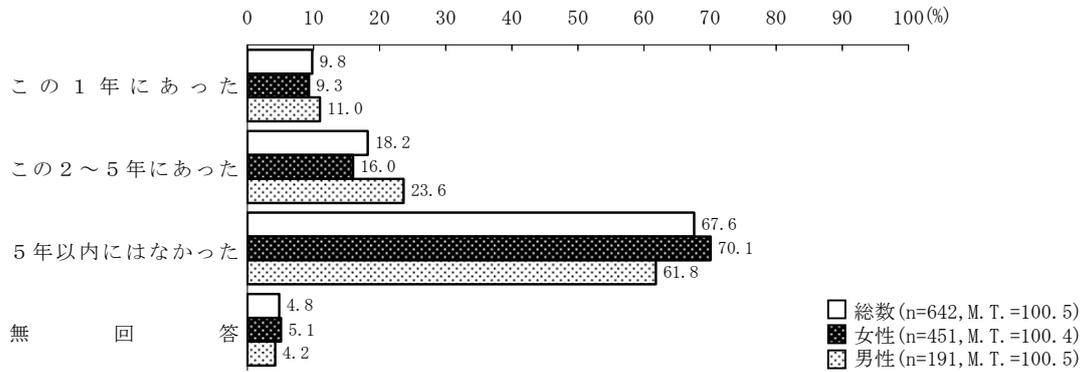
過去5年以内の被害経験を男女別にみると（図3-2-2），“身体に対する暴行を受けた”経験は女性（1年にあった9.3%、2～5年にあった16.0%）より男性（同11.0%、23.6%）の方がやや多くなっている。

“精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた”経験は、男女間に大きな差はみられない。

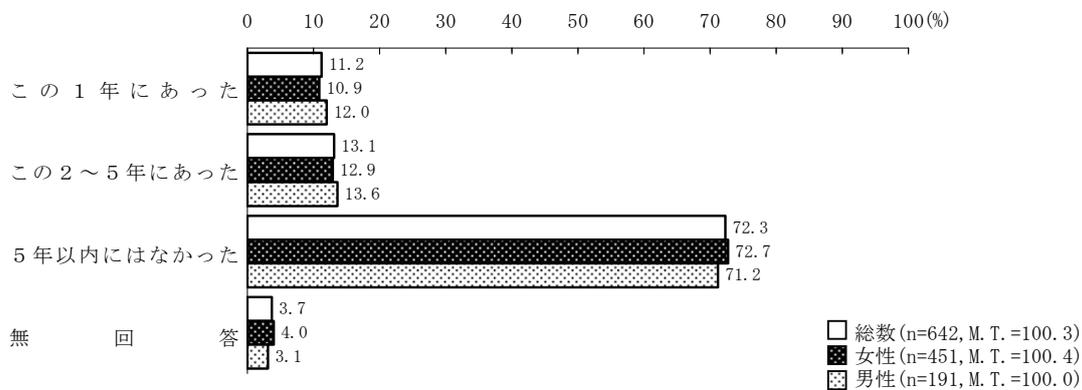
“性的な行為を強要された” 経験は、男性（同 1.6%、5.2%）より女性（同 5.1%、8.2%）の方が 6 ポイントほど上回っている。

図 3-2-2 配偶者からの被害経験 — 過去 5 年間（男女別）

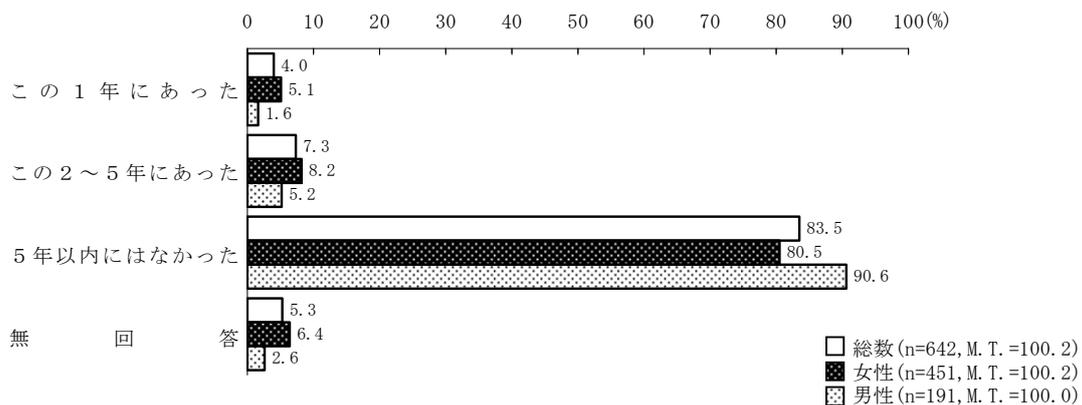
A 身体に対する暴行を受けた



B 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた



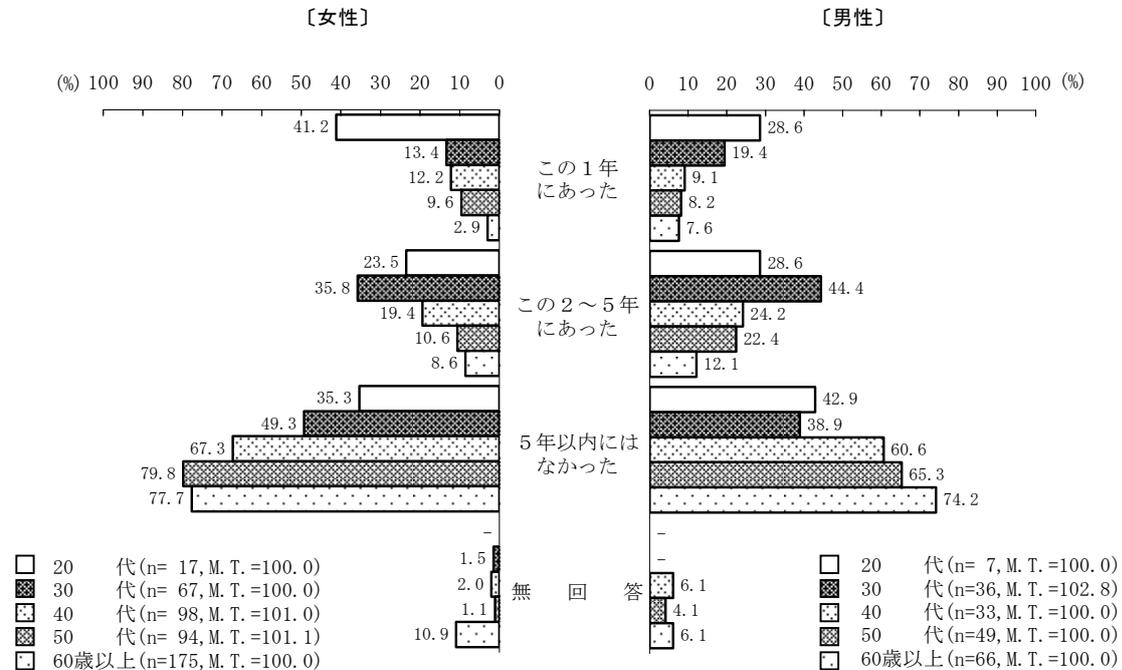
C 性的な行為を強要された



該当数は小さくなるが、性・年齢別にみると（図3-2-3）、この1年もしくは2～5年以内に配偶者からの被害にあっている人は、男女とも年齢の若い層に多くなる傾向がある。

図3-2-3 配偶者からの被害経験 — 過去5年間（性・年齢別）

A 身体に対する暴行を受けた



B 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた

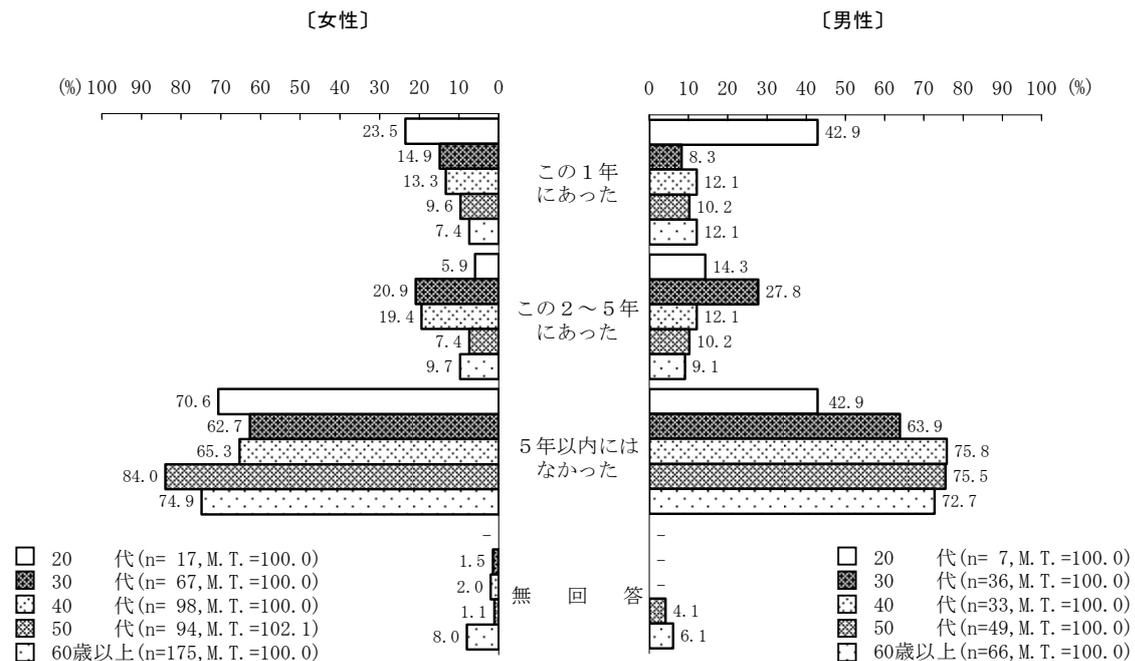
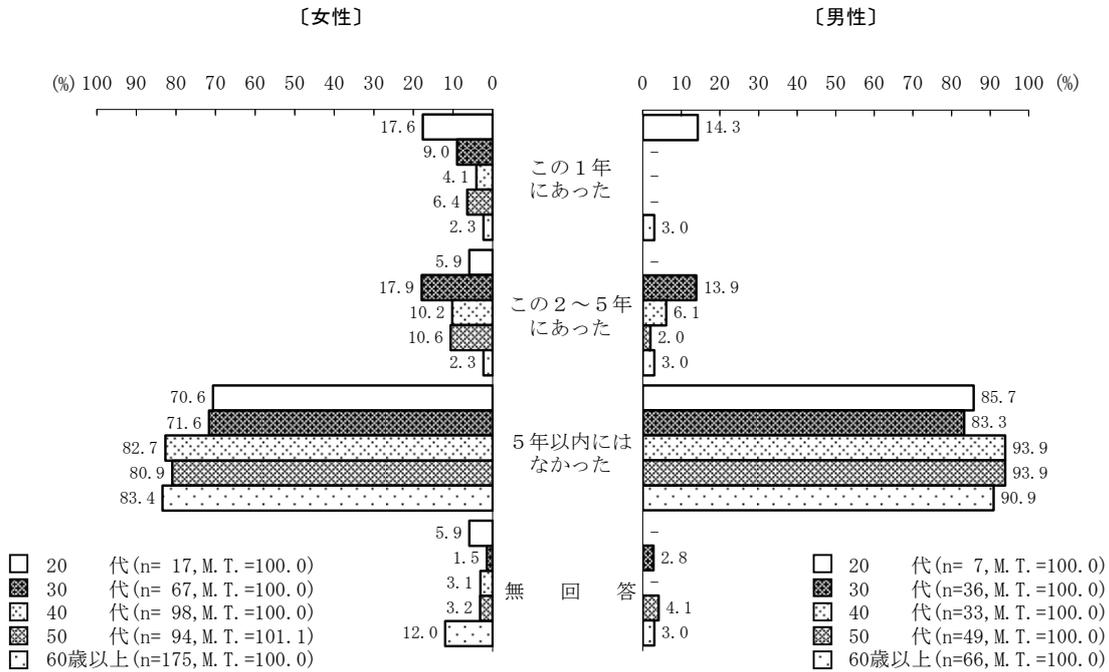


図 3-2-3・つづき

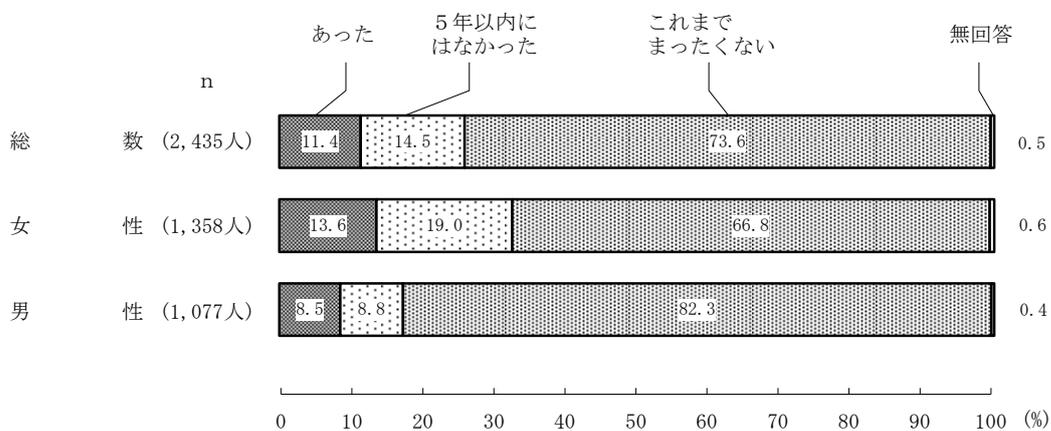
C 性的な行為を強要された



この5年以内に配偶者から何らかの被害を受けた経験の有無を、これまでに結婚したことのある人全体（2,435人）でみると（図3-2-4）、被害経験が『あった』という人は11.4%となっている。

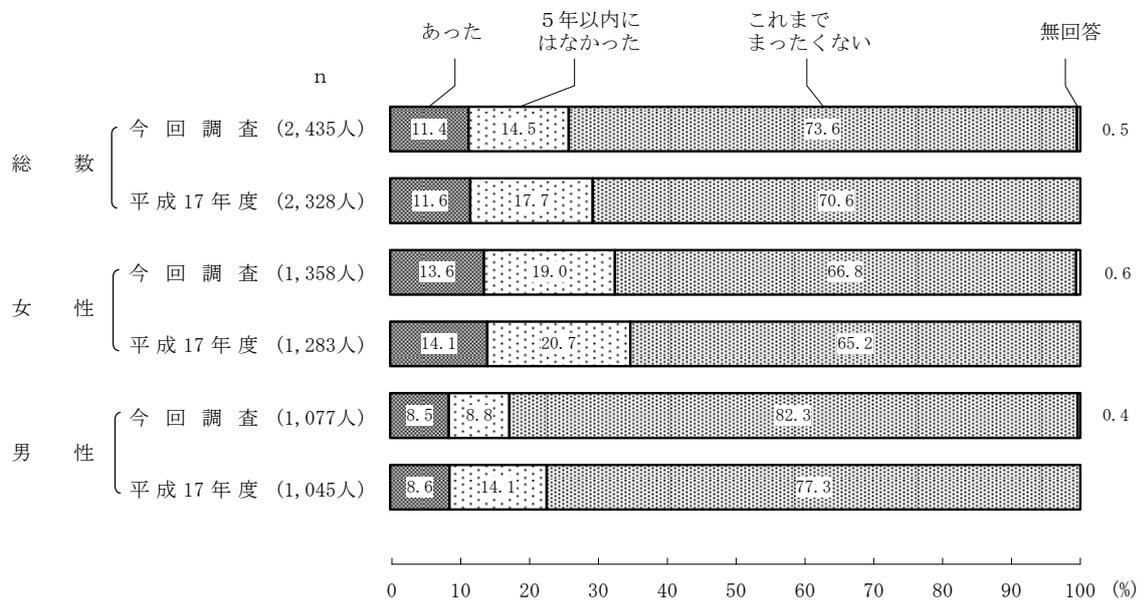
男女別にみると（図3-2-4）、女性では全体の13.6%が被害を受けたことが『あった』と答えているのに対して、男性では8.5%と、5ポイントの開きがある。

図 3-2-4 配偶者からの被害経験 — 過去5年間・まとめ（全体ベース）



平成 17 年度調査と比較すると（図 3-2-5）、配偶者からの被害経験に大きな変化はみられない。

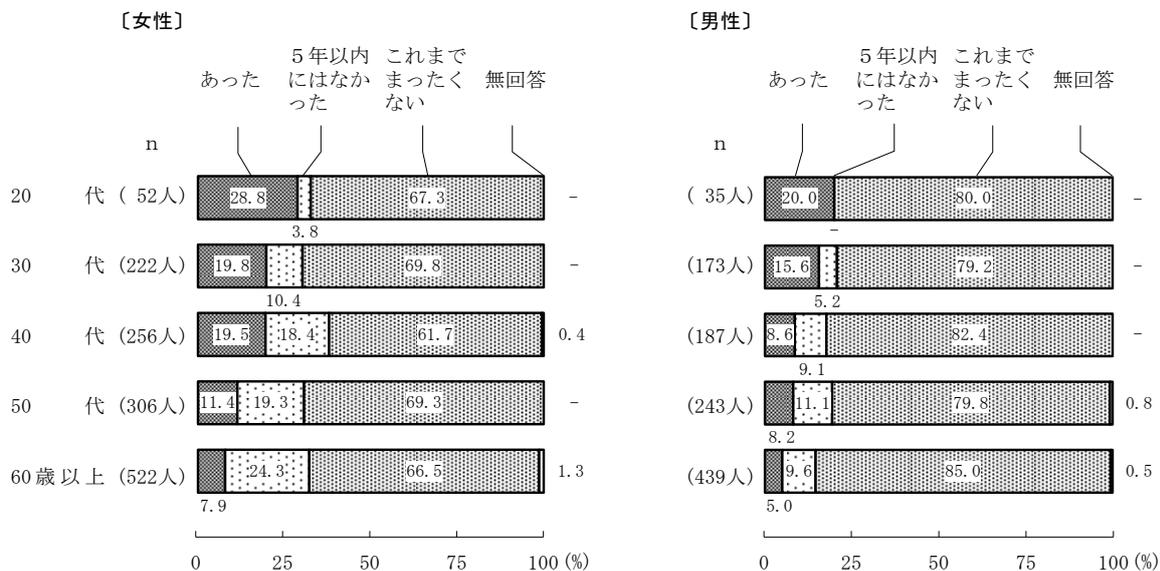
図 3-2-5 配偶者からの被害経験 — 過去 5 年間・まとめ（全体ベース／時系列）



（注）平成17年度調査では、「これまでまったくくない」の中に無回答を含む。

さらに、性・年齢別にみると（図 3-2-6）、男女とも若年齢層ほど、この 5 年以内に配偶者から被害を受けたことが『あった』という人が多くなっており、女性 20 代（28.8%）では 3 割ほどが被害を受けている。

図 3-2-6 配偶者からの被害経験 — 過去 5 年間・まとめ（全体ベース／性・年齢別）



この5年以内に配偶者から受けた“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”といった行為の重複をみると（表3-2-1）、「身体的暴行のみ」（13.4%）という人が最も多く、1割強となっている。

男女別にみると（表3-2-1）、女性では「身体的暴行のみ」（11.1%）という人が1割で最も多くなっているが、次いで「心理的攻撃のみ」（8.9%）、「身体的暴行と心理的攻撃」（8.0%）、「性的強要のみ」（5.8%）が1割弱となっている。

一方、男性では「身体的暴行のみ」（18.8%）という人が2割弱で、次いで「身体的暴行と心理的攻撃」（11.5%）、「心理的攻撃のみ」（11.0%）が1割ほどとなっている。

表3-2-1 配偶者からの被害の重複 — 過去5年間

(%)

	n	身体的暴行のみ	心理的攻撃のみ	性的強要のみ	身体的暴行と心理的攻撃	心理的強要と身体的強要	身体的強要と性的強要	身体的暴行と心理的強要	身体的強要と性的強要と心理的強要	まったくない	無回答
【 総 数 】	642	13.4	9.5	4.8	9.0	1.2	0.9	4.2	55.0	1.9	
女 性	451	11.1	8.9	5.8	8.0	1.6	0.9	4.9	57.2	1.8	
男 性	191	18.8	11.0	2.6	11.5	0.5	1.0	2.6	49.7	2.1	

(3) 配偶者からの被害の相談先

この5年以内に配偶者から何らかの被害を受けたことがあった人(277人)に、受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしたかを聞いたところ(図3-3-1)、「家族や親戚に相談した」(23.8%)と「友人・知人に相談した」(21.7%)がそれぞれ2割強となっているが、それ以外の項目はいずれも1~3%程度となっている。一方、「どこ(だれ)にも相談しなかった」(61.0%)という人は、6割を占めている。

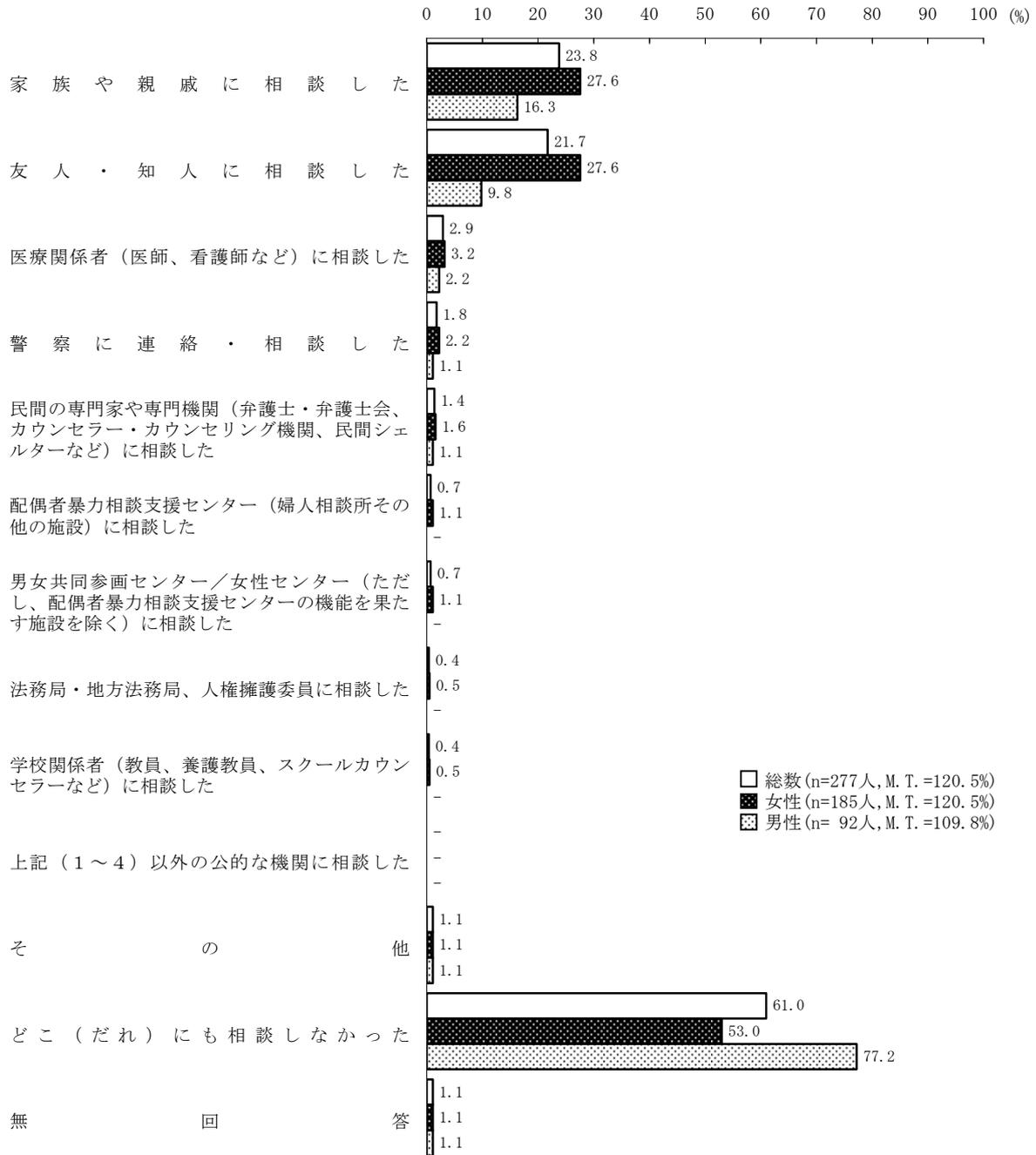
男女別にみると(図3-3-1)、「家族や親戚に相談した」(女性27.6%、男性16.3%)と「友人・知人に相談した」(同27.6%、9.8%)という人は、いずれも女性で約3割となっているが、男性では1割程度となっている。

【問6でAからCのうち1つでも、「1 この1年にあった」「2 この2~5年にあった」と回答した方にお聞きします。

AからCのすべてが、「3 5年以内にはなかった」という方は次ページの問9にお進みください。】

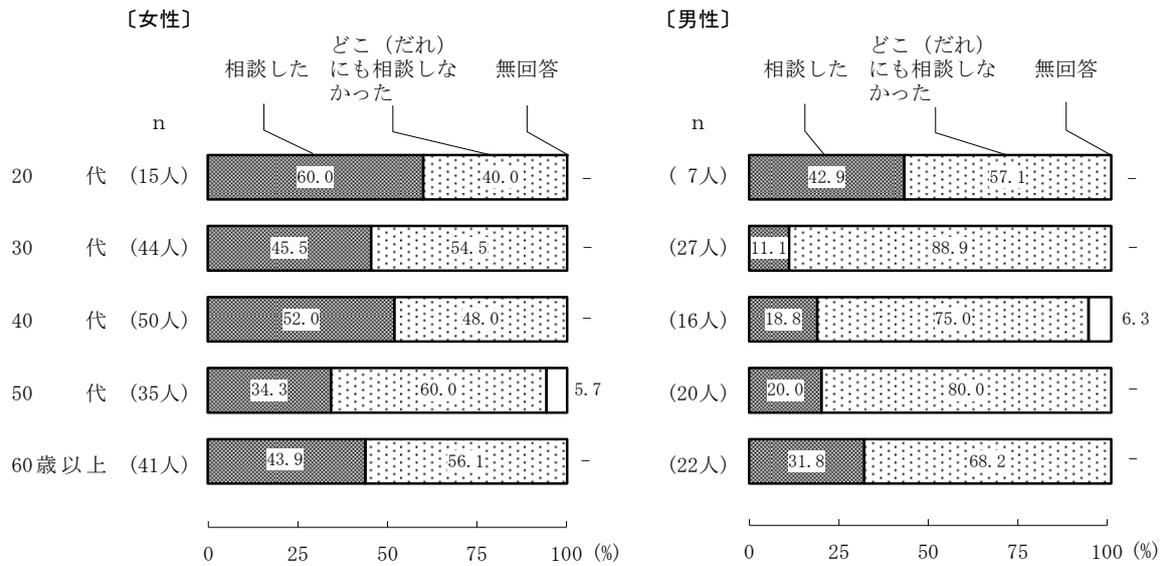
問7 あなたはこの5年の間に、あなたの配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図 3-3-1 配偶者からの被害の相談先



該当数は小さくなるが、相談の有無を性・年齢別にみると（図 3-3-2）、『どこ（だれ）かに相談した』という人は、女性の 40 代で 52.0% となっている。

図 3-3-2 相談の有無（性・年齢別）



(4) 相談しなかった理由

配偶者から受けた被害について、どこ（だれ）にも相談しなかった人（169人）に、相談しなかった理由を聞いたところ（図3-4-1）、「相談するほどのことではないと思ったから」が57.4%と最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」（39.1%）が4割弱となっている。

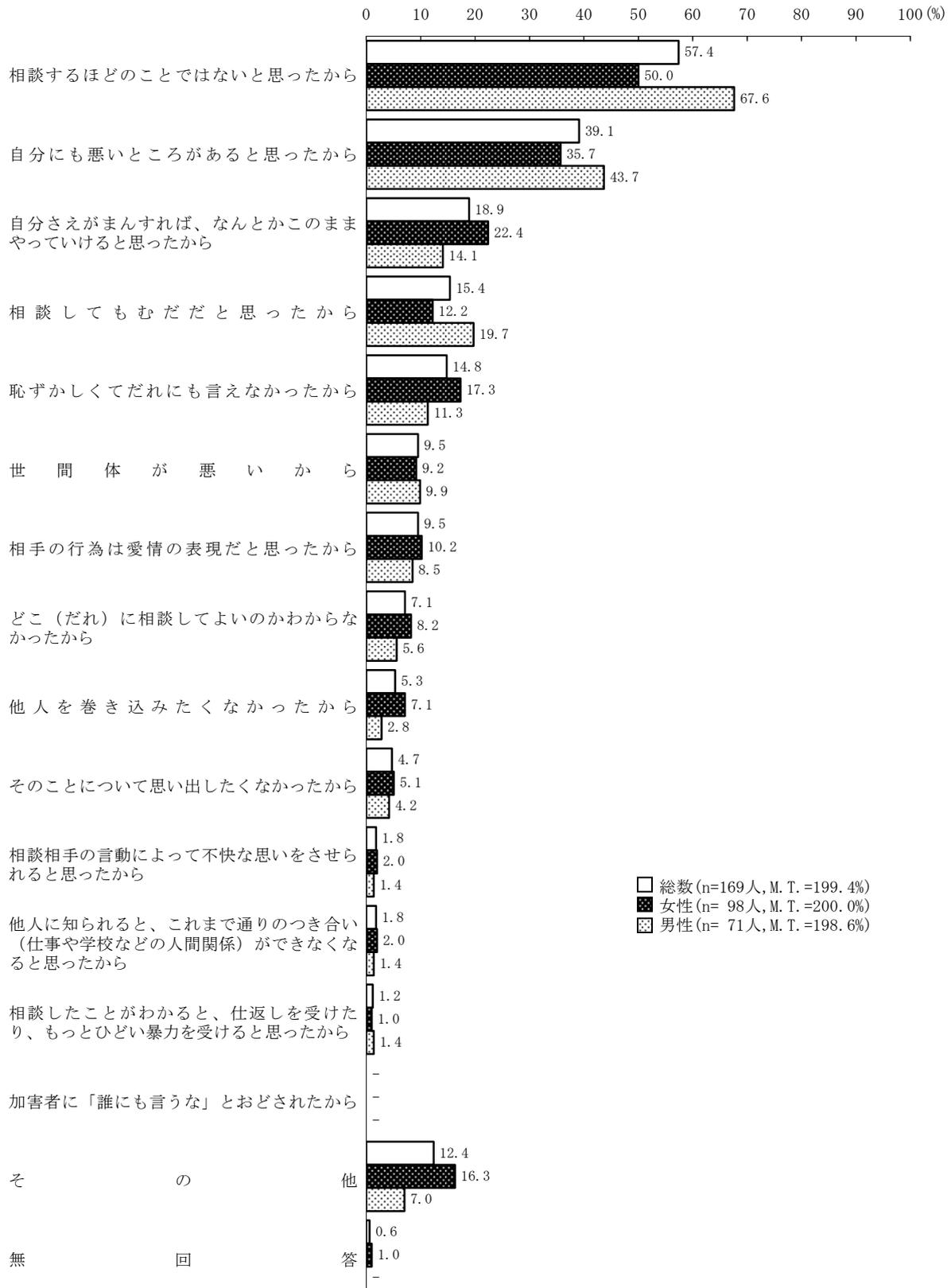
男女別にみると（図3-4-1）、「相談するほどのことではないと思ったから」（女性50.0%、男性67.6%）は、男性で約7割があげており、女性を17ポイント上回っている。また、「自分にも悪いところがあると思ったから」（同35.7%、43.7%）も女性より男性のほうが8ポイント多くなっている。

一方、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」（同22.4%、14.1%）と「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」（同17.3%、11.3%）は、女性では2割ほどの人があげており、男性を6～8ポイント上回っている。

【問7で「12 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。】

問8 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図 3-4-1 相談しなかった理由



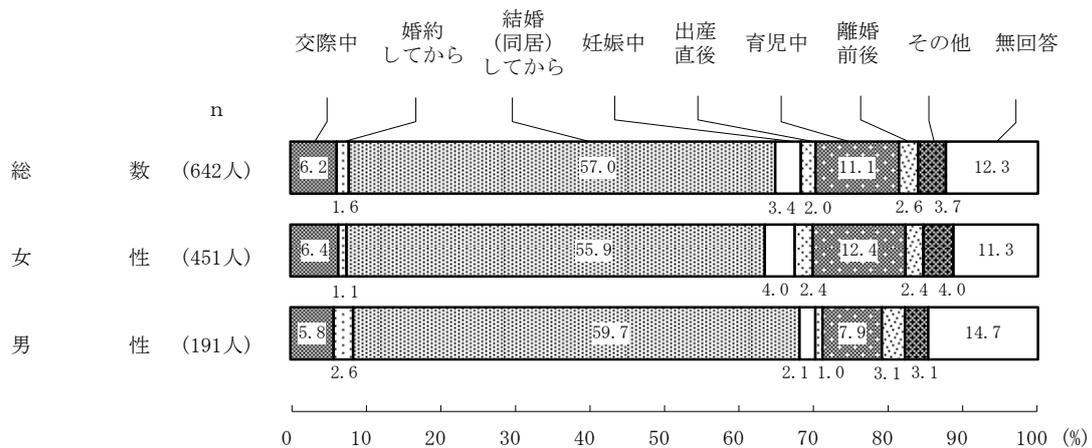
(5) 配偶者から最初に被害を受けた時期

これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（642人）に、その行為を初めて受けた時期を聞いたところ（図3-5-1）、「結婚（同居）してから」という人が57.0%と最も多く、以下、「育児中」（11.1%）、「交際中」（6.2%）の順となっている。

男女別にみると（図3-5-1）、「結婚（同居）してから」という人が女性55.9%、男性59.7%と最も多く、以下、「育児中」（女性12.4%、男性7.9%）、「交際中」（同6.4%、5.8%）の順となっている。また、女性の4.0%は「妊娠中」と答えている。

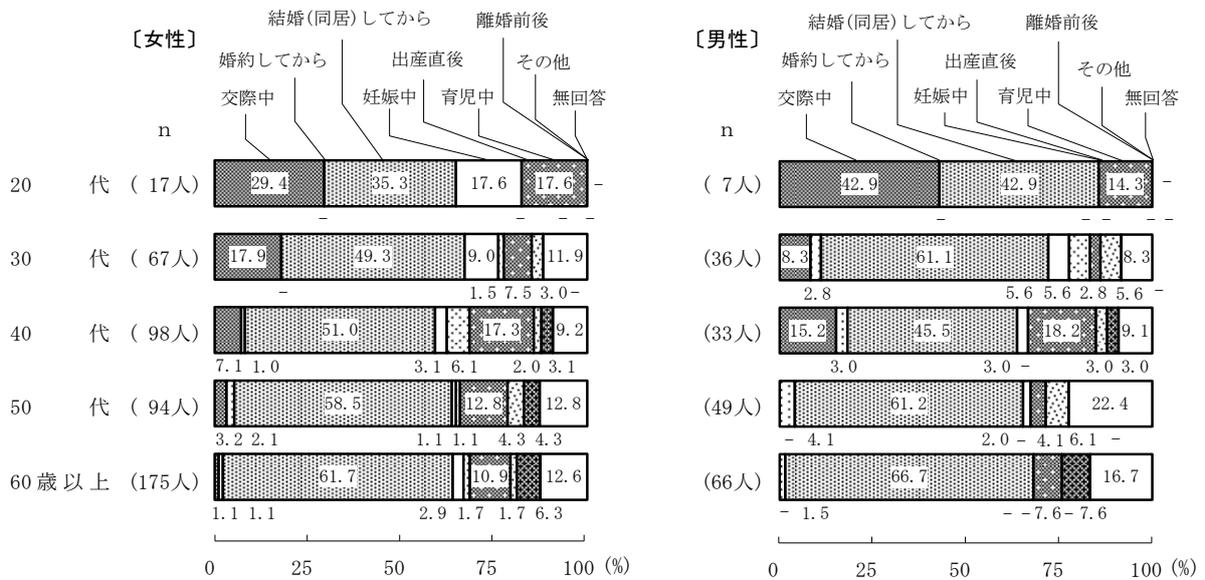
【配偶者から、問5のAからCの行為を受けたことがある方すべてにお聞きします。】
 問9 あなたが、あなたの配偶者からそのような行為を最初に受けたのは、いつですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-5-1 配偶者から最初に被害を受けた時期



最初に被害を受けた時期を性・年齢別にみると（図3-5-2）、女性では、「結婚（同居）してから」という人が最も多く、年齢が高くなるほどその割合は高くなっている。また、女性の30代では「交際中」（17.9%）、40代では「育児中」（17.3%）に初めて被害を受けたという人が2割ほどとなっている。

図3-5-2 配偶者から最初に被害を受けた時期（性・年齢別）



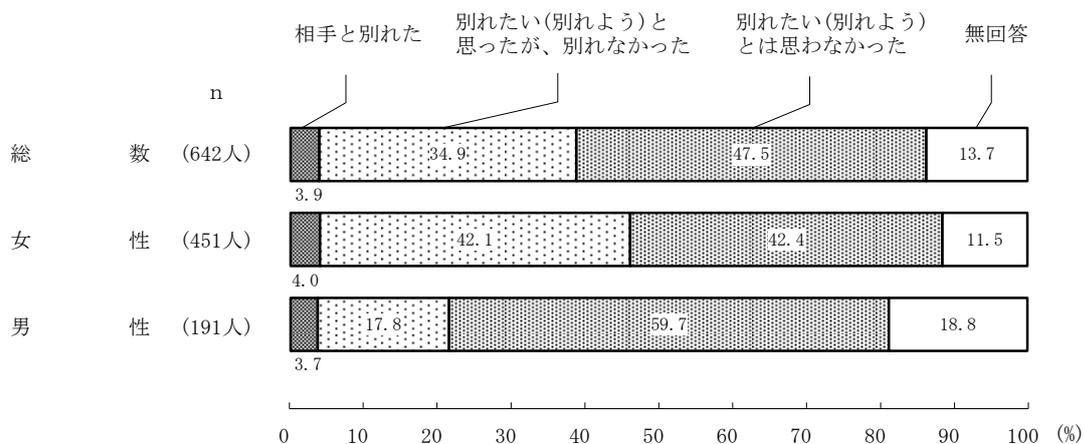
(6) 配偶者から被害を受けたときの行動

これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（642人）に、その行為を初めて受けたころ、相手との関係をどうしたのかを聞いたところ（図3-6-1）、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」という人が47.5%と最も多く、次いで「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」という人が34.9%となっている。また、「相手と別れた」という人は、3.9%となっている。

男女別にみると（図3-6-1）、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」（女性42.1%、男性17.8%）という人は男性より女性に、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」（同42.4%、59.7%）という人は女性より男性に、それぞれ多くなっている。

問10 あなたは、あなたの配偶者からそのような行為を最初に受けたころ、どうしましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

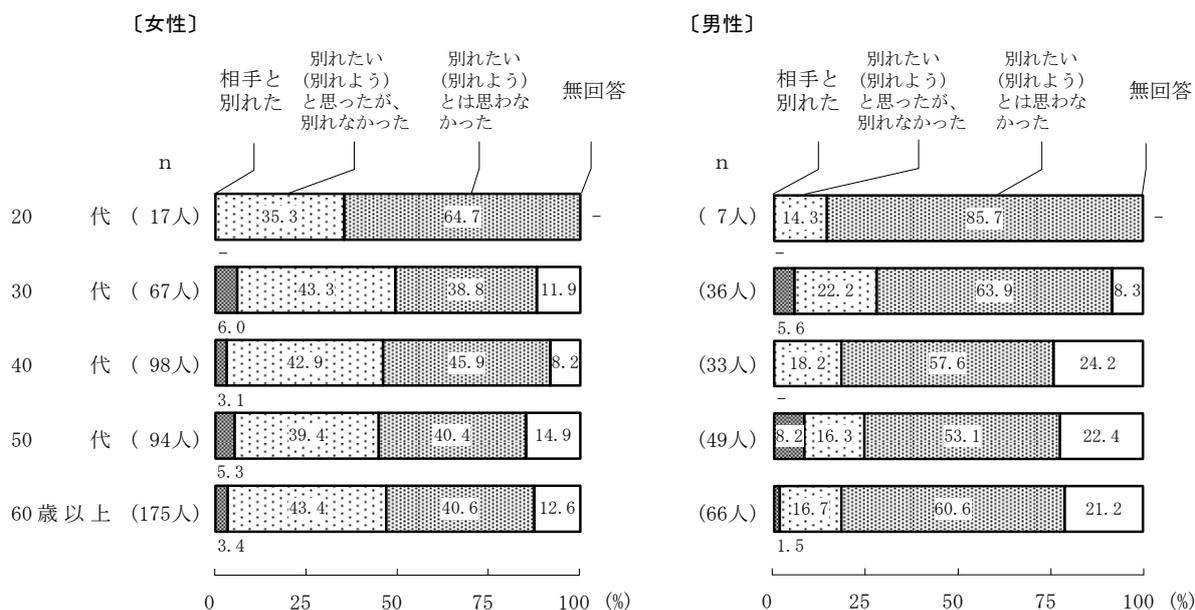
図3-6-1 配偶者から被害を受けたときの行動



配偶者から初めて被害を受けたときの行動を性・年齢別にみると（図3-6-2）、女性の40代以上では、「別れたいと思ったが、別れなかった」という人と「別れたいとは思わなかった」という人の割合は、ほぼ同率となっている。

一方、該当数は少ないが、男性ではいずれの年齢層でも「別れたいとは思わなかった」という人が多数を占めている。

図3-6-2 配偶者から被害を受けたときの行動（性・年齢別）



(7) 配偶者と別れなかった理由

配偶者から何らかの被害を初めて受けたころ、相手と「別れたい（別れよう）」と思ったが、別れなかった」という人（224人）に別れなかった理由を聞いたところ（図3-7-1）、「経済的な不安があったから」という人が24.6%と最も多く、次いで「これ以上は繰り返されないと考えたから」（13.8%）、「世間体を気にしたから」（10.7%）、「相手が別れることに同意しなかったから」（8.5%）、「相手には自分が必要だと思ったから」（8.0%）の順となっている。

なお、「その他」（53人）の理由としては（表3-7-1）、「子どもがいたから」という人が26人と半数を占めており、『別れなかった』という人全体でも1割以上となっている。

男女別にみると（図3-7-1）、女性では「経済的な不安があったから」（28.4%）という人が3割ほどと最も多くなっているのに対して、該当数は少ないが、男性では「世間体を気にしたから」という人が34人中11人と最も多くなっている。

【問10で「2 別れたい（別れよう）」と思ったが、別れなかった」と回答した方にお聞きします。】
 問11 あなたが、相手と別れなかった最も大きな理由は何ですか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-7-1 配偶者と別れなかった理由

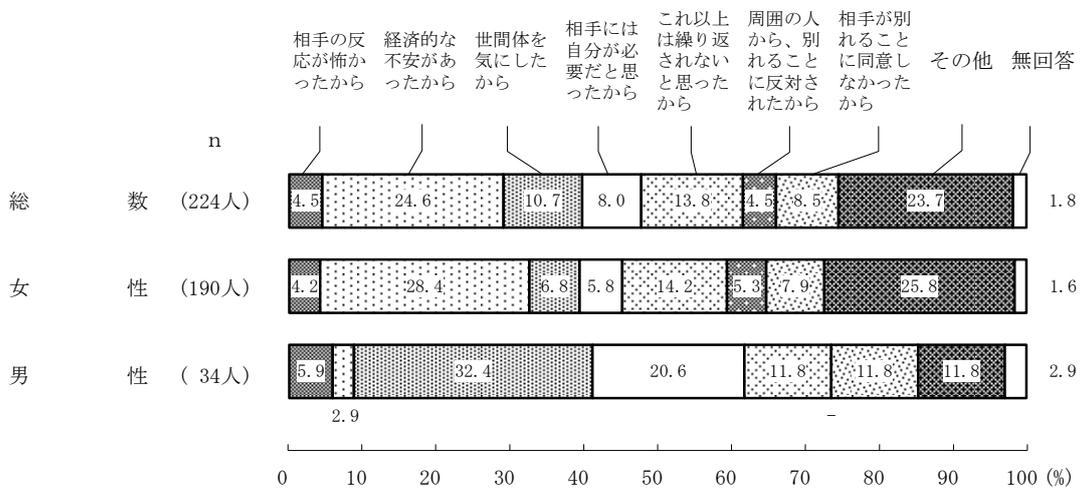


表3-7-1 配偶者と別れなかった理由 - 「その他」の内訳

理由	人数
子どもがいたから	26
親に心配をかけたくなかったから	3
相手が反省していたから	2
たの親のいない子どもにしたくなかったから	2
ただのケンカだったから	2
子どもを傷つけたくなかったから	1
子どもが別れないでほしいと言ったから	1
生まれてくる子どもがかわいそうだと思ったから	1
小さな子どものことや父や母のことを思ったから	1
一時的なものだったから	1
思い切れなかったから	1
親の反対を押し切って勝手に籍を入れたから	1
相手がヒステリック状態だったため	1
自分に相手が必要だと思ったから	1
嫌だという気持ちを冷静に話してやめてもらったから	1
謝られると許してしまおう	1
何とかなると思ったから	1
自分の気持ちがいまいちわからなかったから	1
相手の親が病気になったため、困っているのに行けないと思った	1
相手の親が病気になるまで、困っているのに行けないと思った	1
頭を打って病人になった、また高齢のため	1
近くにいていつか復讐しゅうするため	1
無回答	2

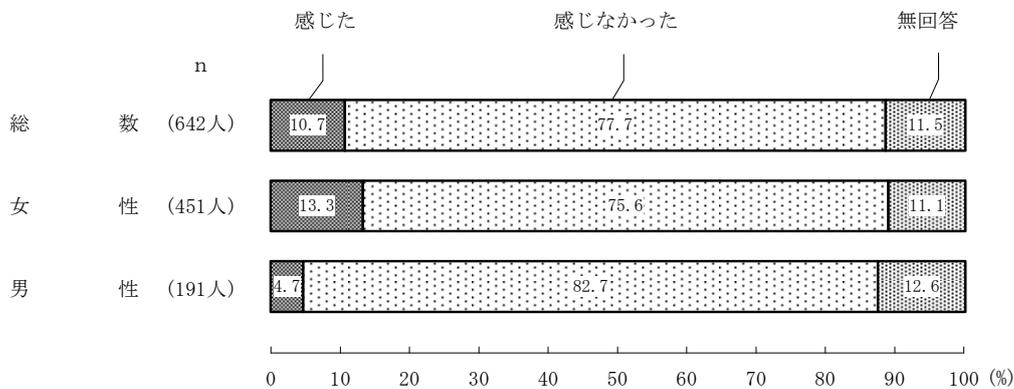
(8) 命の危険を感じた経験

これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（642人）に、その行為によって、命の危険を感じたことがあるか聞いたところ（図3-8-1）、「感じた」（10.7%）という人が1割となっている。

男女別にみると（図3-8-1）、女性の13.3%が命の危険を「感じた」と回答しているのに対して、男性では4.7%となっており、女性の方が約9ポイント上回っている。

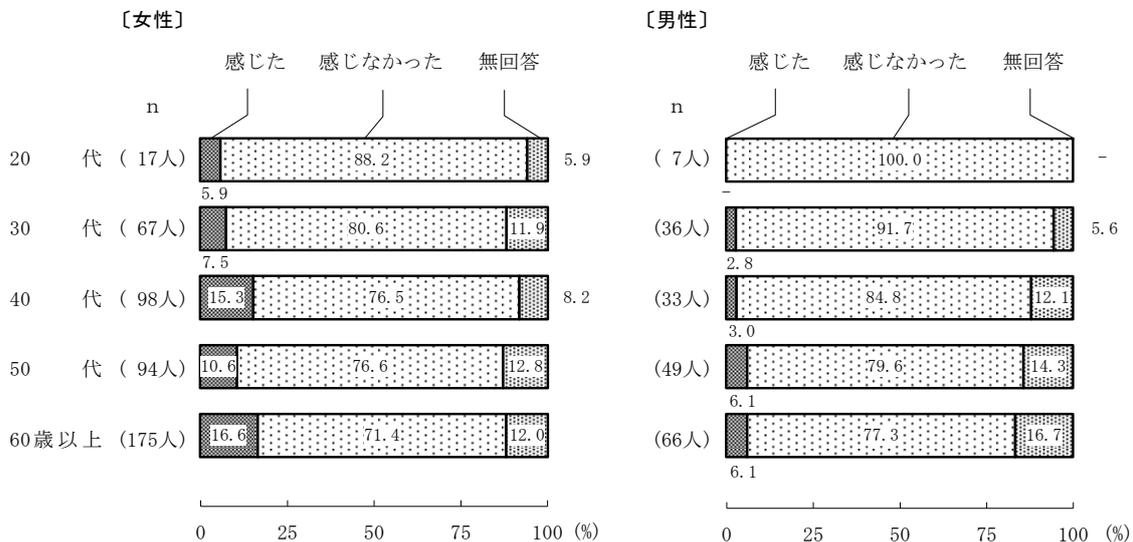
【配偶者から、問5のAからCの行為を受けたことがある方すべてにお聞きします。】
 問12 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けたそのような行為によって、命の危険を感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-8-1 命の危険を感じた経験



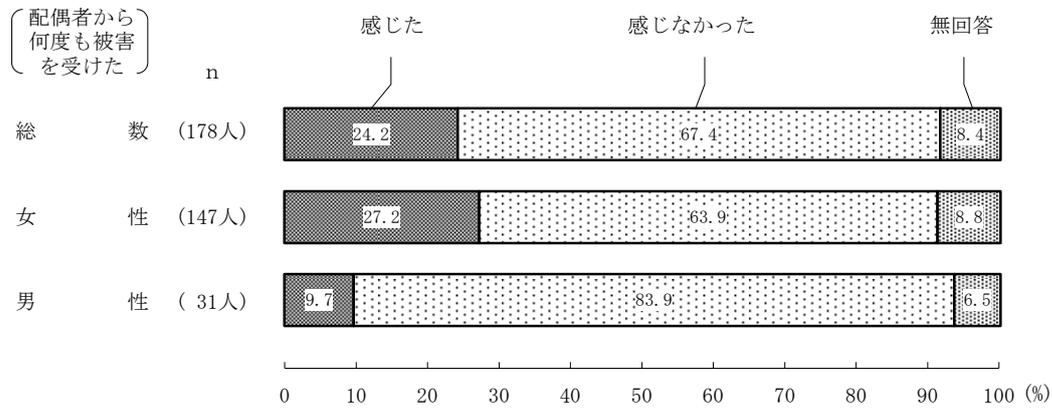
命の危険を感じた経験を性・年齢別にみると（図3-8-2）、「感じた」という人は女性の40代以上（40代15.3%、50代10.6%、60歳以上16.6%）で、1割強となっている。

図3-8-2 命の危険を感じた経験（性・年齢別）



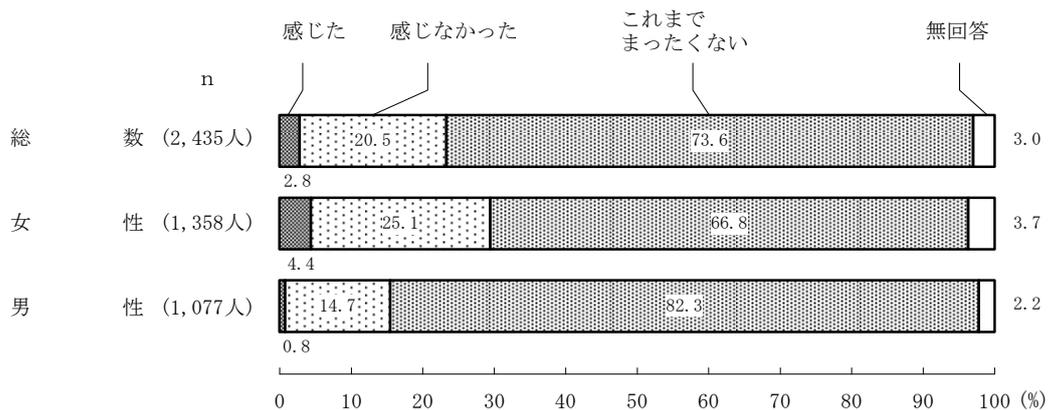
さらに、配偶者からの被害を何度も受けた人（178人）でみると（図3-8-3）、女性で27.2%が命の危険を「感じた」と回答している。

図3-8-3 命の危険を感じた経験



今までに被害を受けたことのない人も含めて、これまでに結婚したことのある人全体（2,435人）でみると（図3-8-4）、命の危険を「感じた」という人は2.8%で、女性は4.4%、男性は0.8%となっている。

図3-8-4 命の危険を感じた経験（全体ベース）



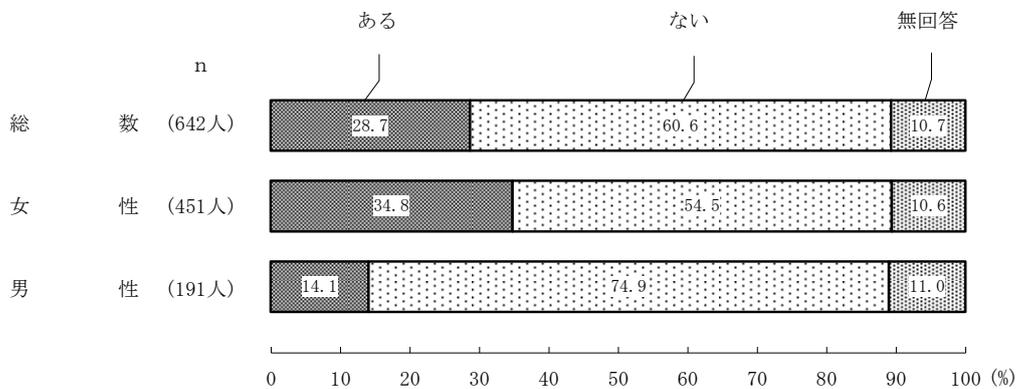
(9) 怪我や精神的不調

これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（642人）に、その行為によって、怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことがあるかを聞いたところ（図3-9-1）、「ある」（28.7%）という人が3割となっている。

男女別にみると（図3-9-1）、女性の34.8%が怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことが「ある」と回答しているのに対して、男性では14.1%と、女性の方が20ポイント上回っている。

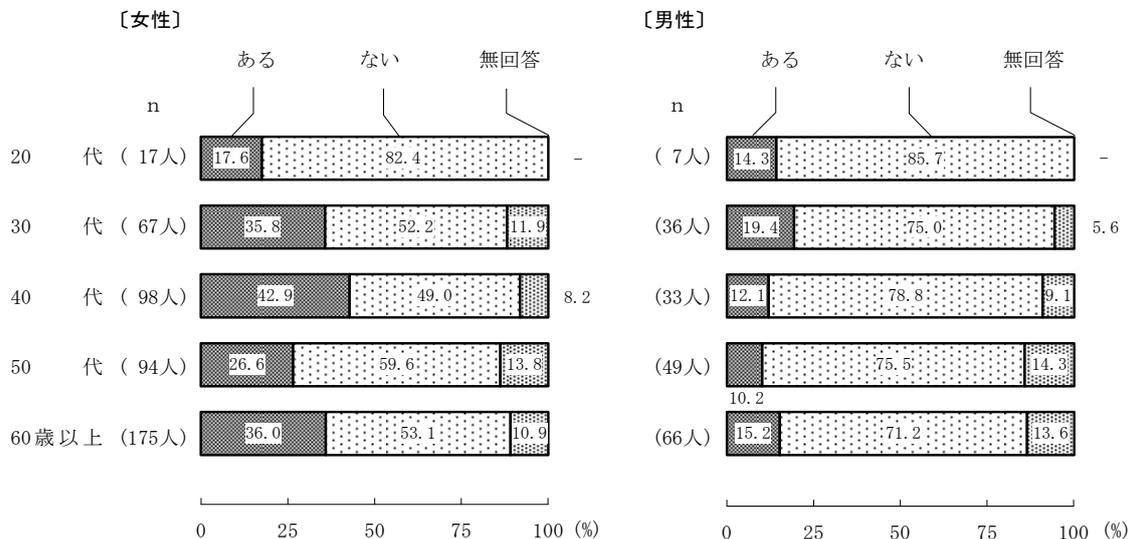
問13 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けたそのような行為によって、怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-9-1 怪我や精神的不調



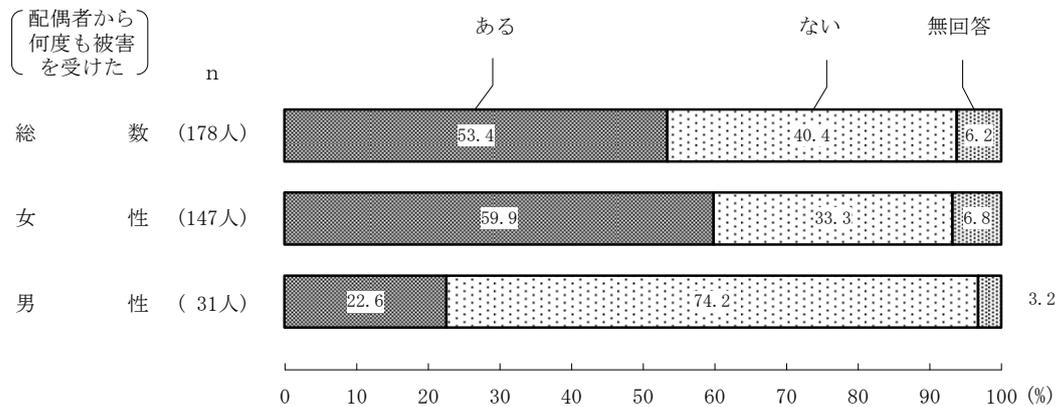
怪我や精神的不調の有無を性・年齢別にみると（図3-9-2）、「ある」という人は女性の40代（42.9%）で最も多くなっており、4割強となっている。

図3-9-2 怪我や精神的不調（性・年齢別）



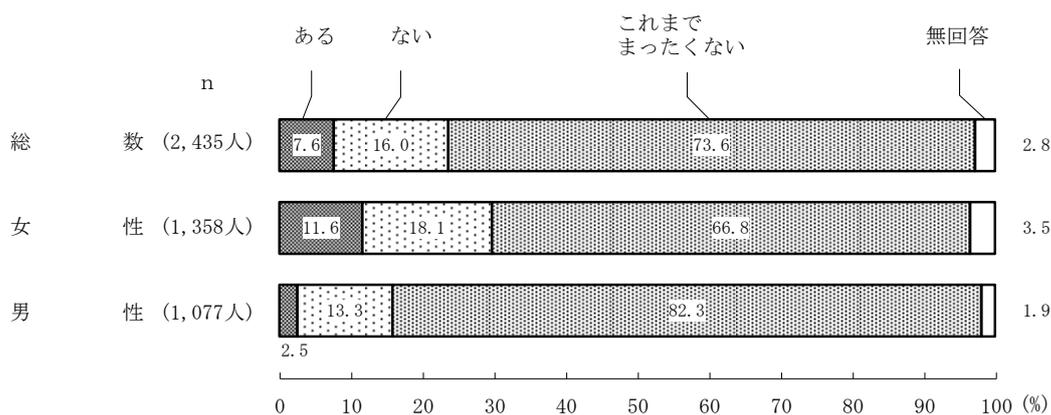
さらに、配偶者からの被害を何度も受けた人（178人）でみると（図3-9-3）、女性の59.9%が怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことが「ある」と回答している。

図3-9-3 怪我や精神的不調



今までに被害を受けたことのない人も含めて、これまでに結婚したことのある人全体（2,435人）でみると（図3-9-4）、怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことが「ある」という人は7.6%で、女性は11.6%、男性は2.5%となっており、女性のほうが9ポイント上回っている。

図3-9-4 怪我や精神的不調（全体ベース）



(10) 医師の診察等

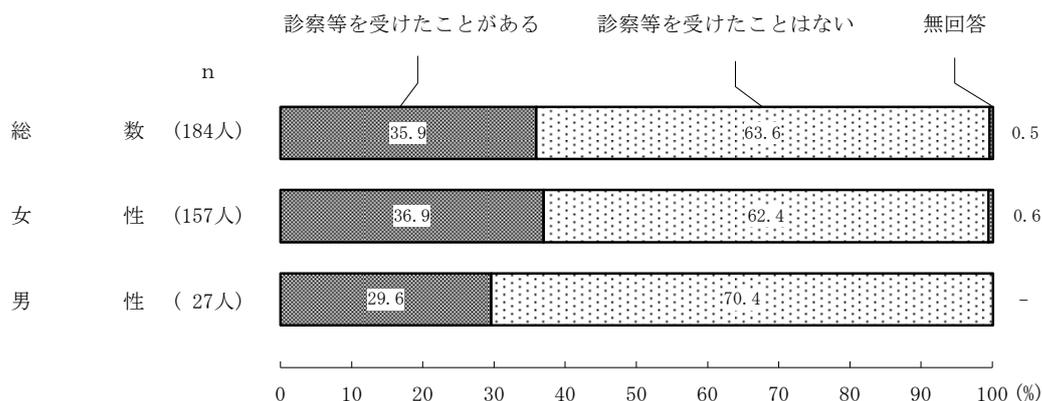
これまでに配偶者から受けた行為によって、怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことがある人（184人）に、医師の診察等を受けたことがあるかを聞いたところ（図3-10-1）、「診察等を受けたことがある」（35.9%）という人が4割ほどとなっている。

男女別にみると（図3-10-1）、女性の36.9%が「診察等を受けたことがある」と回答しているのに対して、該当数は少ないが、男性は27人中8人となっている。

【問13で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問14 あなたは、そのような行為による怪我や精神的不調について、医師の診察等を受けたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-10-1 医師の診察等



該当数は小さくなるが、医師の診察等を受けたことがあるかを性・年齢別にみると（図 3-10-2）、女性の30代以上では、24人中11人が「診察等を受けたことがある」と回答している。

図 3-10-2 医師の診察等（性・年齢別）

